56 キスイケシカニモリ　（クリイロケシカニモリ科）　兵庫県ランク：A

Cerithiopsidae gen. et sp.　環境省ランク：指定なし

種の概要

殻長3mm程度の塔型で、殻表は螺肋と縦肋が交差し石畳状になる。殻色は淡い飴色を呈し、巻に沿って黒線が数本ある。山口県周防灘の干潟において未記載種として報告され(福田,2001)、その後の記録は見受けられないが、近年、兵庫県淡路島南部で確認された。汽水域や河口干潟においては、ケシカニモリ類の生息記録はなく、現状では本種のみが干潟に見出される種のようである。干潟の砂泥底に半ば埋もれた転石裏面に付着しており、付着面には薄い海綿と思われるものが付着し、これを餌としていると考えられる。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○	○	○

県内分布

南あわじ市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島南部の内湾にある砂泥干潟で見つかっているのみである。同所的にミヤコドリガイやニッポンマメアゲマキ、シラギク(いずれも貝類Aランク)が生息しており、これらの貝は半ば泥中に埋もれた石の裏の還元環境に生息している。

保護上の留意点

河口にある泥干潟の半ば埋もれた転石に生息し、適度に石裏に甲殻類や環形動物などの生痕による酸化部が必要と考えられる。このような微環境を特定して保全するのは困難であるが、既知産地においては現状維持に努め、護岸工事や埋め立てを行わないよう配慮する。

写真提供：川渕千尋

写真提供：増田修

【執筆者】　増田修